

第4回今治市地域福祉計画審議会 会議録

日 時	平成 28 年 2 月 19 日 (金) 13:00～14:00
場 所	今治市総合福祉センター1階 会議室
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1)パブリックコメントの結果について</p> <p>(2)第2期今治市地域福祉計画(答申案)について</p> <p>(3)その他</p> <p>3 閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・座席表</li> <li>・パブリックコメント結果</li> <li>・第2期今治市地域福祉計画(案)</li> <li>・第2期今治市地域福祉計画(概要版)</li> <li>・答申書(写)</li> </ul>
出席者	<p>(委員)</p> <p>恒吉和徳 委員 上村友希 委員 片上修二郎 委員</p> <p>柳原能夫 委員 新居田利忠 委員 川本登倭子 委員</p> <p>賀来英芳 委員 加藤朋子 委員 菅 千代美 委員</p> <p>結田静夫 委員 大澤 博 委員 近藤健太郎 委員</p> <p>橋本勝哉 委員</p> <p>(今治市)</p> <p>健康福祉部長 村上伸幸</p> <p>福祉政策課 阿部課長、二宮係長</p> <p>(株)ジャパンインターナショナル総合研究所)</p> <p>谷内田研究員、藤田研究員</p>

事務局	【第4回地域福祉計画審議会の開会】
会長	<p>【会長挨拶】</p> <p>こんにちは。お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。皆様と顔を合わせてご審議いただくのは、今回が最後ということですが、この後市長答申もあるため、短い時間での審議となりますので、スムーズな進行にご協力ください。本日もよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>委員出席確認(13名出席、3名欠席)</p> <p>配布資料の確認を行う。</p>
会長	<p>【議事】</p> <p>議事「(1)パブリックコメントの結果について」事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>議事「(1)パブリックコメントの結果について」説明する。</p>
会長	<p>議事「(1)パブリックコメントの結果について」質問等を求める。</p>
A委員	<p>意見はいくつかあるが、1時間では終わらないため、やめておきます。</p>
会長	<p>議事「(2)第2期今治市地域福祉計画(答申案)について」事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>議事「(2)第2期今治市地域福祉計画(答申案)について」説明する。</p>
会長	<p>議事「(2)第2期今治市地域福祉計画(答申案)について」質問等を求める。</p>
B委員	<p>2月の定例県議会で、障害者差別の解消について条例が制定され、行政も承知と思われまます。本計画にも障害福祉の分野が軸としてあります。県が表記しているように、障害の「害」を「がい」にするよう、今年度から対応してください。</p>
事務局	<p>修正を加えさせていただきます</p>
副会長	<p>本計画は、市が作って、市が実行するものです。P.39にありますように、市の行動内容の前に、社会福祉協議会が前になっているのはおかしいと感じます。市が先に来るほうがきれいに感じるが、何か意図はありますか。</p>

事務局	P.8 の関連図にあるように、社会福祉協議会の地域福祉活動計画と連携を図るようになっていたため、社会福祉協議会の取り組み内容を記載しています。ページのレイアウトの関係もあり、こちらのほうが分かりやすいと思います、このように記載しています。
A委員	私もこの記載は、本末転倒と感じていました。老人クラブのサロン活動を取り上げてもらえるのはありがたいが、市の主な取り組みは、もっと数があってもよいと感じました。たとえば、地域包括支援センターは、私も非常に助けてもらい、良い活動と感じたため、もっと出してもよいと思います。もうひとつは、ケアハウス。39,000 人が活用されています。市の施策としてもっと前に出すべきだと思います。主体は市として、社会福祉協議会より前に出すべきです。民生児童委員は、プライバシーの問題もあり、活躍できない部分があります。地域包括支援センターは、直接訪問したり、情報も持っている、非常に役立っております。
事務局	順番については変更します。具体的な施策については、地域福祉計画以外の個別計画に載せていますが、本計画で、もう少し入れる方がよいのかなど、掲載バランスについては事務局にお任せいただけたらと思います。
A委員	P.57 に民生委員・児童委員のコラムを入れて周知しているが、必要ありません。それよりも、まだ2年目の地域包括支援センターの情報を出して周知したほうがよいと思います。
事務局	地域包括支援センターについては、高齢者福祉計画にも掲載しています。本計画にも地域包括ケアシステムについての掲載箇所がありますので、他の計画で補っていきます。民生委員については、児童から高齢者、障害者と幅広い範囲で見させていただいておりますので、地域福祉計画でも触れていきたいと考えています。
A委員	以前素案 P.7の修正を依頼し、計画案は直してくれています。しかし、概要版では直っていません。前回も申したが、自助・公助・共助は防災分野の文言です。私は、自助については福祉ではないと考えています。それは前回の会議で賛同をいただけたはずですが、今回提示された概要版 P.3では自助に関する記載がされています。自助で補えないところを公助で補うことが福祉です。このような文言では、市の姿勢を問われる内容です。私の心は伝わっていませんと感じ、極めて不満に感じています。答申の際にもこの意見を伝えてください。今回は時間がなため、議論はしません。先に申し上げますが、私は賛同できません。

事務局	会議録に意見を記載しておきます。
会長	他の委員にも、今回の計画について一言いただけますか。
C委員	概要版やリーフレットを作成されるので、地域の皆さまに広く周知し、策定後に活動を実行できればと思います。教育に関する項目は、協力していただけたらと思います。
B委員	行政は、情報を多く持っていますが縦割りで、横の連絡が少ないのが現状であり、今後の課題です。地域に出れば上から下まで水平思考を持ち、全員が一緒にならないと、地域を守ることはできません。本計画を実行するにあたっては、計画を知ってもらうことが大事です。
A委員	私の意見はありません。
D委員	地域で助け合うことは大事ですが、労力が団体に偏っています。助け合い、と口では言っても、行動できていないと感じます。
E委員	福祉教育も非常に大事です。これからは、人材の確保のつながる活動が必要だと思います。
F委員	計画書のP.2に地域包括ケアシステムの内容も記載されているので、これからが大切だと感じています。
G委員	小さな子どもたちに、地域の人に守られながら育つことの幸せを感じてもらえたらと思います。また、子育て中の親御様も地域に参加してもらえる働きかけができたらと思います。
H委員	自治会は、公民館活動や学校と密着しています。活動を通じて3世代での交流をしていけたらと思います。
I委員	地域をつなげるには、子どもの元気が大切です。今後、人材育成、福祉教育、防災教育、中学校の職場体験を通じて、地域のつながりを深めていきたいです。
J委員	これまでも地域福祉に関わってきました。今後もできるかぎり、地域に関わっていきます。

K委員	本計画が、福祉の基本となります。地域と一体となって、理念を基に実行できるようにしていくとともに、努力を期待しております。
副会長	今治市は広く、陸地、都市部、山間部、島しょ部と地域性が多様です。計画を実行する際は、それぞれの地域で座談会を開いて、地域の皆さんの声を聞き、それに沿った実施計画を立ててほしいと思います。5年はすぐ経ちます。絵にかいた餅にならないよう、明日から実行に移してください。
会長	<p>計画は、策定するプロセスと、いかに実行に移せるかが重要です。ようやくスタートラインに立ったということで、それぞれの立場で本計画が実りあるものになるよう協力をお願いします。本計画は「つなぐ」がキーワードとなっています。地域の中で不安を抱えている人に、制度や人をいかにつないでいくか、また、現在活動されている人も、どのようにつなげていくかが課題となっていきます。皆様のご協力をいただけたらと思います。</p> <p>以上を持って議事をすべて終了します。</p>
村上部長	<p><b>【閉会挨拶】</b></p> <p>本日は、1時間の審議にご協力いただきありがとうございます。昨年の7月から4回にわたりご意見をいただき、計画が作成できたこと、感謝に堪えません。ご指摘いただいたように、計画が実施できるよう取り組んでまいります。皆様のご協力の程、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p><b>【第4回地域福祉計画審議会の閉会】</b></p>